

## お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第5回 3月9日(土) 草志舎
- ・ マーメイドづくり 3月12日(火) 午後1時 草志舎
- ・ 歴史的建築物研究会 民芸の美術館巡り 3月23日(土)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘大掃除&研修 3月30日(土) 4月5日(金)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘公開開始 4月6日(土)
- ・ アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第1回 4月13日(土) 草志舎
- ・ 畑儀文の合唱教室 4月15日(月) 草志舎
- ・ 和のこもの展 4月24日(水) 25日(木) 草志舎



雪の六甲山荘(写真・岡本正美)

## アメニティ・アカデミー 2013年度事業

### 第 期セミナー「会員なら知っておきたい基礎講座」

アメニティ・アカデミーの4月からのセミナーは「会員なら知っておきたい基礎講座」と題して、アメニティ 2000 協会の創立から旧乾邸の保存活動、ヴォーリズ六甲山荘購入を経る流れにそいながら、私たちの活動の基盤となる思い、理念について語ります。ナショナル・トラスト運動や日本での保存活動の実践についての話など、会員として知っておきたいことばかりです。どうぞ参加ください。

日程 4月から9月の第2土曜日(8月は休み) 場所 草志舎

受講料 : 全講座受講(5回分) 5,000円 (お茶代込み)

一部受講 1回につき 1,500円 (お茶代込み)

- 第1回 4月14日(土) 講師: 清水彬久 「アメニティ 2000 協会の歩み」
- 第2回 5月12日(土) 講師: 清水彬久 「アメニティ 2000 協会の歩み」
- 第3回 6月 9日(土) 講師: 清水順子 「ナショナル・トラスト運動」
- 第4回 7月14日(土) 講師: 黒田睦子 「文化財の保存活動」(仮題)
- 第5回 9月 8日(土) 講師: 清水彬久 「アメニティ 2000 協会の現状と展望」

### 畑儀文の合唱教室

アンサンブル・アメニティの代表である畑儀文さんの指導による合唱教室を開催します。畑さんはテノール歌手としても有名ですが、合唱の指導者としても活躍しておられます。少人数で贅沢な教室にぜひご参加ください。

開催日 2013年4月~2014年3月(8月はお休み)

第3月曜日(但し7月、9月は第2月曜日) 午後2時より

場所 草志舎(阪急西宮北口駅より徒歩3分)

参加費 11回通し 会員 20,000円 一般 25,000円

途中から参加(1回会員 2,000円 一般 2,500円) × 残り回数

詳しくは同封の案内またはホームページをご覧ください。



## トラスト・ユース・センターは学生会員の募集を始めます

「トラスト・ユース」とは、『若者に託する』という意味です。当協会の将来を担う人材を育てていこうという主旨で、このセンターを立ち上げることになりました。そして、企画委員によって、4月からスタートする第 期生の募集要項ができました。ホームページにも掲載されています。六甲山荘のスタッフやセミナーへの参加、夏のワーキングホリデーの企画運営などに力を発揮してもらいたいと期待しています。お知り合いの学生さんにどうぞお声をおかけください。募集要項はこのアメニティ便りに同封しています。もっと必要な場合は事務局にご連絡ください。お送りいたします。

## 第 期セミナー最終回

3月9日(土) 午後2時~

「NPOが拓く社会」

経営学者の島田恒氏によるセミナーです。参加者には著書のプレゼントがあります。

どうぞご参加ください。

## ご報告1 アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第4回 2月9日(土) 草志舎

理事で弁護士の山田康子さんが「結婚・離婚の境界から」というテーマでご自分の手がけた案件を題材にして話してくださいました。身につまされたり、夫婦間という人間の心理の動きの面白さ、意外性に笑ったりしながらの1時間でした。妻から離婚を言い出された夫の多くが「なんで?」と驚くとか、裁判所は離婚を命じることはできても復縁はさせられないとか、情報に満ちたお話に、興味はつきませんでした。



## ご報告2 タイ交流旅行 2月11日(月)~16日(土)

ここ10年来タイ・チェンマイのYMCAが行っている環境農業教育プログラムへの支援を視察する旅行です。いつもながらの大歓迎を受け、支援のお金で作られた養魚施設や畑の灌漑装置などを見せてもらいました。お土産の鯉のぼりをプールにかかげてもらい、青空に気持ちよさそうに泳いでいました。1年に20万円の支援は日本円では大きな額ではありませんが、タイ北部の貧しい山岳民族の子供達の将来にかかわる訓練に役立っているというのうれしいことです。



手作りスナックを試食

### 予告2 ヴォーリス六甲山荘大掃除&スタッフ研修

六甲山荘の公開が4月6日(土)から始まります。それに備えてスタッフの研修を行います。これまでにガイド経験のある方はブラッシュアップのために、未経験の方でもやってみようかと思っておられる方もぜひご参加ください。同時に屋内外の掃除と室内の設営、喫茶の準備なども行います。

まだ少し寒いかもしれませんが、久しぶりの山荘へどうぞおいでください。

月日 3月30日(土) 4月5日(金) 午前10時

### 予告1 歴史的建築物研究会~民芸を訪ねる美術館めぐり

3月の歴史的建築物研究会、民芸を訪ねる美術館巡りは濱田庄司展や河井寛次郎の記念館および民芸運動に縁のある美術館を貸切バスで回ります。各美術館では学芸員の解説を聞きながら見学します。民芸の魅力を楽しむ一日です。

月日 2013年3月23日(土)

行程 東洋陶磁美術館 大阪日本民藝館  
大山崎山荘美術館 河井寛次郎記念館

参加費 会員6,500円 一般7,500円

(入場料、貸切バス代込み、昼食代は別途各自負担)

## 【コラム】

### なぜタイへ行くのか?

清水 順子

2003年のことです。海外へも私たちの活動の輪をひろげたいと考えていたとき、タイの第二の都市チェンマイ YMCA の環境農業教育プログラムの話が入ってきました。

<北部山岳地帯の小中学校には山岳民族の子供たちが大勢通っているが、貧しいために給食代が払えない子が多い。そういう子供たちが安全で栄養のある食事ができるようにしたい。それも子供たち自身で農薬などに頼らない安全な食材をつくる。食材の加工もする。その知識、技術を家庭や地域にひろめていき、収入の一助にする。食材としては畑で野菜をつくる、モヤシをつくる、ニワトリを飼う、池でナマス、食用カエルなどを飼う、キノコを栽培する、豚を飼う。肥料、飼料には手作りした有機肥料を使う。>

このプログラムの一番のポイントはほとんどすべてを子供たち自身が行うことです。そうすることで技術が身につく、将来自分たちの家や村で実践して家計を助けることができるようになります。またバナナやココナツなどを使ったスナック作りも指導して、できたものは市で売ったりします。その収入はもちろん食材費にあてられます。

YMCA と話しあって、このプログラムに年間20万円の支援を行うことになりました。このお金で養豚小屋、キノコ栽培小屋などをつくり、子豚、野菜の種、キノコのタネ等を買います。指導はYMCA スタッフが行い、定期的に現地に通ってフォローアップもします。

2004年2月私たちのお金がどのように使われているのか、現地に見に行こうとチェンマイへ出かけました。最初に訪問したのはパンマカド小学校。国道を1時間半走り、デコボコ山道を1時間ゆられて到着しました。学校の建物は立派ですが、見るからに山奥の小村です。村人総出で大歓迎してくれました。支援金でできた畑や養豚設備など、それぞれの担当の子供たちが説明して(もちろんタイ語で)くれます。一生懸命ですが、緊張がとけるととてもいい笑顔を見せてくれます。

支援は10年目、タイ訪問も今年で8回目です。「タイには必ず行きます」という会員もおられ、最初に訪問したパンマカド校の卒業生に奨学金を贈る有志のグループもできました。行くたびに新しくスタートした学校に鯉のぼりをプレゼントしています。青空に鯉が元気よく泳いでいる姿に、私たちのささやかな支援が役に立ってくれることを願います。いつも大歓迎を受けるのは気づかないけれど、子供たちのあの笑顔に会えるのがとてもうれしいタイ交流旅行なのです。

お薦めの本

田辺千代文 増田彰久写真 「日本のステンドグラス 小川三知の世界」  
「日本のステンドグラス 宇野澤辰雄の世界」

田野辺 恭子

私が洋館を見るという趣味を持ち始めた頃、はじめは入ったことのない建物を訪れるということに感激していました。次第に細部のステンドグラスやエッチングガラス、タイル等に惹かれ特に注目して観るようになったのです。

日本のステンドグラスは、例えばティファニー社のオパールセントガラスが使われているために、ステンドグラス自体が外国製と間違えて伝えられていることが多くあるのではと感じています。

そういう時に、系統立ててステンドグラスを研究し、工房や工場のこと、最後の弟子達に話しを伺ってまとめている田辺千代氏にお会いしたのです。

日本のステンドグラスは外国の物と比べると、微妙な色の組み合わせやデザインに違いがあるのですが、写真家の写したステンドグラスを観ながら、色合いや陰影、線の美しさを味わっていただきたいと思います。

公共建築や教会等に大きな魅力を与えるステンドグラスですが、個人の邸宅や倶楽部、図書館等には入ることが難しい場所も多々あります。この本を通じて、そういう所のステンドグラスの魅力にも触れていただきたいものです。

最後に大阪近辺の方々には、大阪府庁舎正庁の間が水・金曜に公開されるようになりましたので、是非圧倒的な美しさをご自身の眼でも鑑賞されますようお薦めしたいと思います。(白揚社)

## おしゃべリアラカルト

### 歴史的建築物研究会

「大阪市 日銀とレトロビルを訪ねる」に参加して

森 英貴

1月のある日、歴史的建物に興味の有るメンバーの方々と大阪市内 歴史的建物集中地区を訪ねました。案内していただくのは「大大阪モダン建築」の編者の高岡伸一先生です。

僕を含め何人かの方がこの著書を既に持っていて共通の話題に花が咲きました。

集合地は大阪市庁舎(日建設計.1982.S57)です。旧庁舎の取り壊し跡に旧庁舎の建築の記憶をも消し去るよう建てられたまるで戦艦のような建物、間近に見上げると圧倒されます。

次に御堂筋お向かいの日本銀行大阪支店(辰野金吾.1903.明治36)へ。大阪市庁舎が取り壊されたところに、外観を可能な限り保存復元・改修されています。

内部が見学できましたが一般の見学者とは違う見方をする我々、すなわちディティール等の観察が好きな連中、だから一層、警備員の目が鋭く写ります。

復元された貴賓室へ案内いただき、まるで別世界、宮殿のようでありました。いくつかある、銀行のお客様記入台にそれぞれ算盤(ソロバン)が置いてあるのが印象的です。

竣工間近のフェスティバルホール(南側外壁に旧建物の記憶があります)に入れてもらったり、エレベータで最上階へ上がり展望を楽しんだりまるで修学旅行気分です。

次に建て替えなった、大同生命ビル(旧建物はヴォーリズ1925.T14) 或る意味「建築の忘れ形見」のモザイクが散りばめられていて楽しいです。建築遺跡めぐりがお好きな方は京都・四条烏丸交差点とともにオススメ。

中之島といえば住友財閥。住友銀行本店(1926.T15)のホールを通り抜けさせていただき昭和初期の銀行の風情を少し感じた後は、楽しみにしていた昼食です。まるでチャップリンの消防士が出てきそうな消防署(1925.T14)。そこを改装したレストランでイタリアンランチ。敷地が小さい故

取り壊しや建て替えを逃れたとか。

ここからは建物のあり方としては当然の”動態保存”されている建物群を堺筋、船場にかけて次々と見て回りました。

転換期とされる、関東大震災(1923.T12)以降、鉄筋コンクリートの建物が建てられたおかげで大阪空襲にも耐え今も現役として”生き”ています。集中してこの地区に多く残されております。

特に青山ビルと伏見ビルや浪花教会と元シェ・ワダのレンガ建物2軒並んで建っているということでめずらしいとの事です。芝川ビル、船場ビル、浪花教会(ヴォーリズ1930.S5) 伏見ビル、青山ビル、生駒ビルと巡り、旧報徳銀行(1922.T11)(現五感(ケーキ))でお茶し、お開きとなりました。

御堂筋が拡幅(1937.S12)される前は三越を始めいくつもの百貨店があった堺筋。

「大大阪モダン建築」(青幻舎 2007 刊)を手に時間旅行の一日でした。

(この企画は福富牧子さま、森田和子さまが担当されました。良い企画、ありがとうございました。)



生駒ビル

### アメニティーアカデミー 山田康子弁護士

結婚離婚の境界から(家族の抱える問題)に参加して

神谷 房江

最近の結婚、特に離婚事情を、講演して頂きました。平成23年度離婚総数は235719件、約9割は協議離婚、1割が調停離婚、その他和解、判決、審判、認諾離婚

等があり、其々の家族の抱える問題に合わせて、話をゆっくりと聞き進めていく。しかしその時の判断材料として、「一軒の家の中で悲劇が発生するかどうか？（家庭内暴力で包丁を持ち出し命の危険があるなど）を一番に考える。人間の気持ちは変化するので、離婚でその先がハッピーであれば良いと考える。事例をあげながら、時には笑いを交えながらの、暗いテーマを暖かく話して頂きました。

パソコンの発達でリセットボタンを押せば簡単にやり直せる時代、離婚も速くなってきている。（世の中すべて変化が速くなっている為）離婚申し立て動機の1番は性格の不一致、以下精神的虐待、浪費、家庭を顧みない、異性関係など男性、女性では微妙に食い違いますが、、当日の受講者は年齢的にもすべてを乗り越えてきましたが、今一

度言葉に気をつけて、相手を尊重して、少しひきながら暮らしましょうと、話し合いました。

暖かい部屋で、順子さんの手作りケーキを頂きほっこりして外に出た瞬間、寒さに身震いし、実際の現場に携わる身として改めて真摯に調停に取り組む覚悟をいたしました。山田先生有難うございました。



### 六甲山荘たより

下界もそうですが、六甲山も今年の冬は寒かった！山荘の敷地では樹の枝が何本も折れていました。幸い建物には被害はなかったのですが、それだけ雪が多かったのでしょう。

3月2日の作業は樋に張った落ち葉避けの網の補修をしました。網にかかった落ち葉がカチカチに凍りついていてなかなかとれず、作業ははかどりませんでした。ハシゴの上で手だけ動かしていると身体が芯から冷えてきます。暖かくなるのを待つしかありませんね。



募金のご報告~~1月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

#### \*六甲山荘ナショナル・トラスト募金

《1月合計 29,880 円 2012 年度累計 610,680 円》

#### \*震災支援募金

《1月合計 5,000 円 2012 年度累計 81,620 円》

### アメニティ・レポートの原稿募集

すでにご案内しましたが、5月末の総会にあわせて発行するアメニティ・レポート2012の「会員の声」への原稿を募集します。題は自由、日頃考えていること、印象に残ったこと、面白い経験などなど、お好きなことをお好きなように書いて、お寄せください。

字数：400字前後

締切り：3月末

皆さまの「お声」を楽しみにお待ちしております。

### マーマレード作りを一緒に！

春の便り、中嶋さん（熊本）の柑橘を味わっておられる方も多くとおもいますが、その中嶋さんの甘夏を使ったマーマレードを作ります。添加物、防腐剤を一切使わない、手作りのマーマレードです。六甲山荘での喫茶に使ったり販売します。

このマーマレード作りに参加くださる方を募集しています。おいでになれる方はご連絡ください。

日時 3月12日（火）

場所 草志舎

持ち物 包丁、エプロン